

正本

(様式第 9)

昭 和 大 学 病 院 第 1 4 号

5 日

関東信越厚生局長 殿

開設者名 学校法
理事

昭和大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	50 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	344人	382人	573.2人	看 護 補 助 者	17人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	2人	0人	2.0人	理 学 療 法 士	8人	臨 床 検 査 技 師	79人
薬 剤 師	53人	0人	53.0人	作 業 療 法 士	2人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視 能 訓 練 士	0人	其 他	0人
助 産 師	55人	0人	55.0人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	2人
看 護 師	891人	15人	900.0人	臨 床 工 学 技 士	16人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	3人
准 看 護 師	1人	0人	1.0人	栄 養 士	1人	そ の 他 の 技 術 員	35人
歯 科 衛 生 士	2人	0人	2.0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	129人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診 療 放 射 線 技 師	45人	そ の 他 の 職 員	3人

(注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	670人	0人	670人
1日当たり平均外来患者数	1,522人	16人	1,538人
1日当たり平均調剤数			488剤

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	0人
超音波骨折治療	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要、			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	31人	・膿疱性乾癬	1人
・多発性硬化症	11人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・重症筋無力症	23人	・原発性胆汁性肝硬変	33人
・全身性エリテマトーデス	203人	・重症急性膵炎	15人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	10人
・再生不良性貧血	36人	・混合性結合組織病	30人
・サルコイドーシス	16人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	5人	・特発性間質性肺炎	3人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	108人	・網膜色素変性症	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	64人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	7人	・肺動脈性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	130人	・神経線維腫症	1人
・大動脈炎症候群	6人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	6人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	0人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	8人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	72人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	17人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	36人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・後縦靭帯骨化症	17人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	12人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェグナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	12人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	0人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	18人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・センチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月に2回開催
部 検 の 状 況	剖検症例数 68 例 / 剖検率 8.60%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学	900,000	補委 厚生労働科学研究費 免疫アレルギー疾患等 予防・治療研究事業
成人を対象とした気管支喘息患者に対する効果的な保健指導の実践に関する調査研究	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学	800,000	補委 独立行政法人環境再生 保全機構
門脈血行異常症に関する調査研究	馬場 俊之	消化器内科学	800,000	補委 厚生労働省
ウイルス性肝炎からの発がん及び肝がん再発の抑制に関する研究	廣石 和正	消化器内科学	2,000,000	補委 厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	廣石 和正	消化器内科学	2,000,000	補委 厚生労働省
肝がん新規治療法に関する研究	廣石 和正	消化器内科学	2,000,000	補委 厚生労働省
C型肝炎ウイルス感染防止が可能なヒト型感染中和抗体の開発	伊藤 敬義	消化器内科学	3,000,000	補委 ヒューマンサイエンス振 興財団
内視鏡医療機器の早期開発における臨床導入に関する研究	小西 一男	消化器内科学	2,000,000	補委 国立がん研究センター
消化器癌におけるインターフェロン産生キラー樹状細胞の治療効果と臨床応用	廣石 和正	消化器内科学	800,000	補委 日本学術振興会
C型肝炎ウイルスのB細胞感染・吸着が惹起する病原性発現機構の解析	伊藤 敬義	消化器内科学	1,500,000	補委 日本学術振興会
B細胞に持続感染するHCVのIFN抵抗性についての解析	井口 桃子	消化器内科学	3,000,000	補委 ウイルス肝炎研究財団
重症新生児に対する療養・療育環境の拡充に関する総合研究	板橋 家頭夫	小児科学	1,500,000	補委 厚生労働省
食物アレルギーの発症要因の解明および耐性化に関する研究	板橋 家頭夫	小児科学	2,000,000	補委 厚生労働省
胎児期から乳幼児期を通じた発育・食生活支援プログラムの開発と応用に関する研究	板橋 家頭夫	小児科学	1,000,000	補委 厚生労働省
重症新生児のアウトカム改善に関する多施設共同研究	板橋 家頭夫	小児科学	1,000,000	補委 厚生労働省
小児等の特殊患者に対する医薬品の適正使用に関する研究	板橋 家頭夫	小児科学	700,000	補委 厚生労働省

母乳のダイオキシン類汚染の実態調査と乳幼児の発達への影響に関する研究	板橋 家頭夫	小児科学	500,000	補 委	厚生労働省
小児期メタボリックシンドロームに対する効果的な介入方法に関する研究	板橋 家頭夫	小児科学	400,000	補 委	厚生労働省
早産低出生体重児の生活習慣病発症の早期リスク予知に関する検討	板橋 家頭夫	小児科学	600,000	補 委	文部科学省
小児気管支喘息重症発作に対するインプロテレンール持続吸入療法の検討: サルブタモール持続吸入療法を対照とした他施設共同盲検ランダム化比較検査	北林 耐	小児科学	500,000	補 委	厚生労働省
食物アレルギーにおける経口免疫療法の確立と治癒メカニズムの解明に関する研究	北林 耐	小児科学	1,000,000	補 委	厚生労働省
母体血漿中RNAを用いたFIRSの評価マーカーの開発	齋藤 裕	産婦人科学	1,500,000	補 委	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金事業基盤研究(C)
妊娠高血圧症候群の病態解明および発症予防についての研究	関沢明彦	産婦人科学	800,000	補 委	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金事業基盤研究(C)
プレバイオティクスを用いた早産ならびに胎児脳障害抑止機序の基礎的・臨床的検討	大槻克文	産婦人科学	1,430,000	補 委	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金事業基盤研究(C)
強出力集束超音波の胎児治療へ向けての基礎的検討	市塚清健	産婦人科学	1,300,000	補 委	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金事業基盤研究(C)
PCRを用いたゲノムワイドな遺伝子解析法の開発とその出生前診断への応用	松岡 隆	産婦人科学	800,000	補 委	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金事業基盤研究(C)
更年期障害心身症診断・治療ガイドラインの標準化とその検証に関する研究	長塚正晃	産婦人科学	500,000	補 委	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
わが国の妊産婦死亡の調在と評価に関するモデル事業	関沢明彦	産婦人科学	0	補 委	厚生労働科学研究補助金(子ども家庭総合研究事業)
女性における生活習慣病戦略の確立ー妊娠中のイベントにより生活習慣病ハイリスク群をいかに効果的に選定し予防するか	関沢明彦	産婦人科学	1,000,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)
Congenital dyserythropoietic anemia(CDA)およびサラセミア貧血の効果的診断法確立に関する研究	関沢明彦	産婦人科学	1,500,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)
母体血を用いた出生前診断法の開発	関沢明彦	産婦人科学	0	補 委	文部科学省「知的クラスター創生事業」
周産期医療における先進的診断技術の開発と応用に関する研究	吉村志帆	産婦人科学	3,000,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金(成育医療研究委託事業)

虚血再灌流障害皮弁実験モデルを用いた血管内皮細胞と接着分子の実験的研究	土佐泰祥	形成外科学	300,000	補委	日中医学協会研究費
パーキンソン病非運動症状の病態解明と早期診断への応用	河村 満	神経内科学	1,300,000	補委	科学技術研究費基盤研究C
顔認知コミュニケーションの神経基盤の臨床神経心理学的検討	河村 満	神経内科学	3,510,000	補委	科学技術研究費新学術領域
脳による生命・恒常性維持の基盤研究と臨床応用	河村 満	神経内科学	900,000	補委	昭和大学共同研究 第一斑

計 36

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Allergy From the Nose to the Lung	難治性喘息の病態と治療	横江 琢也	呼吸器・アレルギー内科学
アレルギー・免疫	日本人成人気管支喘息患者に対するブデソニド/ホルモテロール配合剤(Turbuhaler®製剤)の長期投与時における安全性と有効性の検討	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
臨床免疫・アレルギー科	IL-33による肺線維芽細胞からのeotaxin産生誘導	黒川 真嗣	呼吸器・アレルギー内科学
アレルギー	救急外来における気管支喘息患者の実態と吸入ステロイド薬処方の影響-多施設コホートと観察研究-	蝶名林 直彦	呼吸器・アレルギー内科学
Oncology Research	the UGT1A1 28 Genotype and the Toxicity of Low-Dose Irinotecan in Patients With Advanced Lung Cancer	Tomohide Sugiyama	呼吸器・アレルギー内科学
Clinical et Experimental allergy	Effect of tiotropium bromide on airway inflammation and remodelling in a mouse model of asthma	S.Ohta	呼吸器・アレルギー内科学
Respiratory Medicine	24-h bronchodilator efficacy of single doses of indacaterol in Japanese patients with asthma: A comparison with placebo and salmeterol	Naruhiko Sugihara	呼吸器・アレルギー内科学
医学と薬学 別刷	気管支喘息の新しい長期管理薬シムビコート®タービュヘイラー®のここが知りたい	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
Allergology International	Comparison of Physicians' Compliance, Clinical Efficacy, and Drug Cost before and after Introduction of Asthma Prevention and Management Guidelines in Japan (JGL2003)	Tomoko Suzuki	呼吸器・アレルギー内科学
日本医事新報	気管支喘息に対するLABAの効果減退	松倉 聡	呼吸器・アレルギー内科学
日本医学会総会雑誌	第28回 日本医学会総会 2011東京シンポジウム:アレルギー疾患の最新治療	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
COPD慢性閉塞性肺疾患-病態解明と治療の進歩-	COPDにおける臨床薬理Ⅱ-β ₂ 刺激薬・テオフィリン薬・吸入ステロイド薬・喀痰調整薬	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
成人を対象とした気管支喘息患者に対する効果的な保健指導の実践に関する研究報告書	気管支喘息長期管理における問題点-気管支喘息患者の吸入療法の実態に関する調査-	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
日経ドラッグインフォメーション	これが喘息治療の3つの新常識	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
アレルギー疾患 イラストレイテッド	ケモカイン	松倉 聡	呼吸器・アレルギー内科学
アレルギー・免疫	ブデソニド/ホルモテロール配合剤(シムビコートタービュヘイラー)の海外臨床試験 Budesonide/formoterol(Simbicort)Trials Summary	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
NHKきょうの健康大百科	気管支ぜんそく	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
アレルギー	ARIA2008-日本の視点からの評価	大田 健	呼吸器・アレルギー内科学
日本内科学会雑誌	呼吸器領域の新しい薬物療法:作用機序と使用の実際 1. 喘息 2. 吸入ステロイド薬/長時間作用性吸入β ₂ 刺激薬配合剤	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学

アレルギーの臨床	総括-吸入ステロイドの発展と今後の展望-	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
内科臨床誌meditina	呼吸不全を招く疾患 喘息	松倉 聡	呼吸器・アレルギー内科学
アレルギーの臨床	喘息急性増悪の定義と増悪因子	横江 琢也	呼吸器・アレルギー内科学
ALLERGIA TRENDS	シムビコート タービュヘイラーの特性	足立 満	呼吸器・アレルギー内科学
Neurologia medico-chirurgica	Novel Method for Emergency Craniostomy for Rapid Control and Monitoring of the Intracranial Pressure in Severe Acute Subdural Hematoma: Technical Note	MiharaYuko	救急医学
医学のあゆみ	外傷に伴う低髄液圧症候群 日本脳神経外傷学会の取組みと診断基準	土肥謙二	救急医学
日本救急医学会雑誌	本邦における熱中症の実態 Heatstroke STUDY2008最終報告	三宅康史	救急医学
日本頭蓋顎顔面外科学会誌 27巻1号 Page48-57(2011.03)	大伏在静脈移植による両側内頸静脈の同時再建を行った1例	黒木知明, 長谷川正和, 山路佳久, 笹原資太郎, 吉本信也	形成外科学
日本頭蓋顎顔面外科学会誌 27巻1号 Page58-66(2011.03)	経耳下腺的アプローチによる切除術が有用であった、再発性外傷性浅側頭動静脈瘻の1例	黒木知明, 長谷川正和, 秋田新介, 吉本信也	形成外科学
日本形成外科学会誌 31巻2号 Page84-87(2011.02)	口唇口蓋裂に合併した口蓋隆起の1例	伊藤奈央, 塩澤佳, 桑原大樹, 信太薫, 大久保文雄	形成外科学
日本口蓋裂学会雑誌 35巻2号 Page103(2010.04)	両側唇顎口蓋裂の二次症例に対するチーム医療チームアプローチによる両側唇顎口蓋裂の二次顎裂部骨移植における中間顎移動術について	大久保文雄, 渡辺あずさ, 木村智江, 佐藤亜紀子, 他	形成外科学
日本口蓋裂学会雑誌 35巻2号 Page119(2010.04)	昭和大学口蓋裂診療班におけるNAM治療後のGingivoperiosteoplasty中期結果について(症例報告1)	佐藤友紀, 大久保文雄, 保阪善昭, 榎宏太郎	形成外科学
日本口蓋裂学会雑誌 35巻2号 Page125(2010.04)	口蓋裂症例の構音発達 1歳から6歳までの経過	木村智江, 佐藤亜紀子, 今富撰子, 大久保文雄, 清水祐紀, 土佐泰祥, 保阪善昭	形成外科学
日本口蓋裂学会雑誌 35巻2号 Page138(2010.04)	早期に極度な切歯骨下垂と側方歯槽骨狭窄を改善した両側唇顎口蓋裂2例の中期経過報告	萬屋礼子, 大久保文雄, 保阪善昭, 榎宏太郎	形成外科学
PEPARS 42号 Page37-42(2010.06)	【耳介の形成外科】折れ耳、絞扼耳輪の形成術	大久保文雄(昭和大学 医学部形成外科学教室), 横山才也, 渡辺あずさ	形成外科学
日本頭蓋顎顔面外科学会誌 26巻2号 Page142-143(2010.06)	唇顎口蓋裂治療における口蓋形成術の比較検討	大久保文雄	形成外科学

日本頭蓋顎顔面外科学会誌 26巻2号 Page228(2010.06)	上下顎移動術後呼吸管理により声門肉芽腫を生じた2例について	青山亮介, 大久保文雄, 渡辺あずさ, 井上真由子	形成外科学
日本褥瘡学会誌 12巻3号 Page368(2010.07)	仙骨部褥瘡に遊離分層植皮術が有効であった症例	小原英里, 国井健太, 大塚尚治, 大久保文雄 他	形成外科学
日本形成外科学会会誌 30巻7号 Page369-372(2010.07)	脂肪腫との鑑別を要した上腰ヘルニアの1例	信太薫, 大塚尚治, 小原英里, 大久保文雄	形成外科学
日本美容外科学会会報 32巻3号 Page128-133(2010.09)	前腕広範囲に及ぶリストカット痕の治療経験	石垣達也, 大久保文雄, 加藤敏次, 毛山章	形成外科学
形成外科 53巻10号 Page1095-1104(2010.10)	【基礎研究から発展した美容医療】脂肪由来幹細胞分泌蛋白を利用した毛髪再生治療	福岡大太朗, 巢瀬忠之, 大久保文雄	形成外科学
日本形成外科学会会誌 30巻10号 Page580(2010.10)	ラット浅腹壁動脈に対するリドカイン局所投与による血流変化と血管攣縮治療の検討	門田聡, 大塚靖, 横山才也, 橋川政利, 門松香一, 土佐泰祥, 清水祐紀, 大久保文雄, 保阪善昭	形成外科学
日本形成外科学会会誌 30巻10号 Page583-584(2010.10)	術中Venue40 Color Doppler使用による安全な皮弁採取方法	永井治, 横山才也, 飯田輝代, 門松香一, 土佐泰祥, 清水祐紀, 大久保文雄, 保阪善昭	形成外科学
周産期医学 40巻増刊 Page786-788(2010.12)	【周産期診療指針2010】新生児編 新生児疾患の治療指針 口唇裂・口蓋裂の治療	大久保文雄	形成外科学
日本美容外科学会会報 32巻4号 Page177(2010.12)	粉碎濃縮脂肪(Homogenized Condensed Rich Fat:HCRF)の口唇及び口唇周囲への注入	福岡大太朗, 渡邊玲, 田中友香里, 大久保文雄	形成外科学
日本形成外科学会会誌 30巻9号 Page476-480(2010.09)	足部Melorheostosisの1例	高木信介, 大塚尚治, 安倍徳寿, 大久保文雄	形成外科学
JOHNS 27巻3号 Page455-458(2011.03)	【耳鼻咽喉科・頭頸部外科の看護技術2011】耳鼻咽喉科で必要な他科の看護知識 形成外科	大久保文雄	形成外科学
日本美容外科学会会報 32巻4号 Page196(2010.12)	高齢者のtotal facial rejuvenation 私の1例(会議録/症例報告)	清水祐紀, 加王文祥, 渡辺あずさ, 酒井倫明, 保阪善昭	形成外科学
日本美容外科学会会報 32巻4号 Page201-202(2010.12)	MedLite C3とトーニング用ハンドピースを用いた肝斑に対するレーザートーニング治療(会議録)	加王文祥, 福司山洋美, 佐藤隆悟, 清水祐紀, 保阪善昭	形成外科学
形成外科 53巻増刊 PageS82(2010.10)	【形成外科の治療指針update 2010】頭頸部疾患 粘膜下口蓋裂(解説/特集)	土佐泰祥	形成外科学
形成外科 53巻増刊 PageS83(2010.10)	【形成外科の治療指針update 2010】頭頸部疾患 Robinシークエンス(解説/特集)	土佐泰祥	形成外科学
医学のあゆみ 235巻2号 Page162-165(2010.10)	【口唇口蓋裂診療Update】顎裂部骨移植術の意義と術式 自家腸骨海綿骨移植による歯牙の誘導崩出(解説/特集)	土佐泰祥	形成外科学

日本医事新報 4520号 Page65-68(2010.12)	口唇口蓋裂の治療(図説)	土佐泰祥	形成外科学
日本頭蓋顎顔面外科学 会誌 26巻2号 Page133(2010.06)	ハイドロキシアパタイト/ポリ-L-乳酸の複合体で あるスーパーフィクソープMXの使用経験(会議録)	門松香一, 横山 才也, 保阪善昭	形成外科学
日本頭蓋顎顔面外科学 会誌 26巻2号 Page211-212(2010.06)	硬膜内進展をきたしたNasal Dermal Sinus Cyst(NDSC)の1例(会議録/症例報告)	寺瀬佳苗, 門松 香一, 佐藤兼重	形成外科学
形成外科 53巻8号 Page895-902(2010.08)	硬膜内に進展したnasal dermal sinus cyst(NDSC) の1例(原著論文/症例報告)	寺瀬佳苗, 門松 香一, 湯田竜司, 佐藤兼重 他	形成外科学
昭和医学会雑誌70巻2 号 Page188- 189(2010.04)	口唇口蓋裂患者の母親の出産時年齢、喫煙、飲 酒に関する統計学的考察(会議録)	森田勝, 門松香 一, 保阪善昭, 藤 村大樹	形成外科学
形成外科 53巻増刊 PageS84(2010.10)	【形成外科の治療指針update 2010】頭頸部疾患 巨舌症(解説/特集)	門松香一, 保阪 善昭	形成外科学
形成外科 53巻増刊 PageS85(2010.10)	【形成外科の治療指針update 2010】頭頸部疾患 舌小帯短縮症・上唇小帯短縮症(解説/特集)	門松香一, 保阪 善昭	形成外科学
昭和医学会雑誌70巻3 号 Page203- 210(2010.06)	口唇口蓋裂患者の母親の出産時年齢、喫煙、飲 酒に関する統計学的考察	森田勝, 門松香 一, 保阪善昭, 藤 村大樹	形成外科学
医薬品副作用ハンドブ ック第2版 高橋隆-監修 日本臨床社	皮膚粘膜眼症候群/中毒性表皮症	渡辺 秀晃	皮膚科学
Ohcology Reserch	Zoledrohate stimulates gamma delta Tcells in prastate cancer patient	直江 道夫	泌尿器科学
泌尿器外科	前立腺癌に対する放射線治療後の内分泌療法	深貝 隆志	泌尿器科学
排尿障害プラフティス	Male LVTS患者の夜間頻尿に対するプロピペリン 塩酸塩の効果と安全性評価	富士 幸蔵	泌尿器科学
日本ミニマム創泌尿器 内視鏡外科学会雑誌	施設設定の問題点と今後の課題	富士 幸蔵	泌尿器科学
Medico	前立腺癌の疫学的動向	深貝 隆志	泌尿器科学
泌尿器外科	泌尿器猟奇におけるトラブルシューティング	小川 良雄	泌尿器科学
日本性機能学会雑誌	開放遠位シャント術を施行した虚血性持続勃起症 の1例	森田 順	泌尿器科学
日本内分泌学会雑誌 86: 70-71	経鼻的下垂体腫瘍摘出術専用のnew micro- pressure-suction-irrigation systemの開発.	阿部琢巳	脳神経外科学
Jpn J Neurosurg 19: 650-657	頭蓋咽頭腫に対する経蝶形骨洞的腫瘍摘出術	阿部琢巳	脳神経外科学
Cardiovasc Revasc Med	Visualization of excessive intracellular calcium ion overload caused by the occurrence of reperfusion injury	Akutsu Y	脳神経外科学
Eur J Nucl Med Mol Imaging	Significance of cardiac sympathetic nervous system abnormality for predicting vascular events in patients with idiopathic paroxysmal atrial fibrillation	Akutsu Y	脳神経外科学
Muscle Nerve. 2010 Aug; 42(2): 208-12	Effect of motor imagery and voluntary muscle contraction on the F wave	市川博雄	神経内科学

Eur Neurol. 2010;64(3):148-55. Epub 2010 Jul 29.	Kana versus kanji in amyotrophic lateral sclerosis: a clinicoradiological study of writing errors.	市川博雄	神経内科学
J Stroke Cerebrovasc Dis. 2010 Aug 31.	Cerebral Microbleeds and Dilative Remodeling of the Basilar Artery: A Magnetic Resonance Imaging Study.	市川博雄	神経内科学
Eur Neurol. 2010;64(4):230-5. Epub 2010 Sep 3.	Involvement of the basilar artery in diabetes mellitus: an MRI study of brainstem infarctions.	市川博雄	神経内科学
J Stroke Cerebrovasc Dis. 2010 Sep 28.	Deep White Matter Hyperintensities, Decreased Serum Low-Density Lipoprotein, and Dilative Large Arteriopathy.	市川博雄	神経内科学
神経内科 2010; 72巻4 号: 424-428	ドパミンアゴニスト即日切り替え効果のParkinson病 症例間差異	村上秀友	神経内科学
脳卒中 2010; 32巻3 号:254-260	簡易嚥下誘発試験と水飲み試験を用いた脳梗塞 急性期の嚥下評価	神谷雄己	神経内科学
World J Gastrointest Pathophysiol	Right colon cancer presenting as hemorrhagic shock.	Iwata T	消化器内科学
Dig Endosc	Sporadic fundic gland polyp-related adenomas occurred in non-atrophic gastric mucosa without helicobacter pylori infection.	Tazaki S	消化器内科学
Am J Gastroenterol	Clinicopathological and Molecular Features of Colorectal Serrated Neoplasias With Different Mucosal Crypt Patterns.	Yano Y	消化器内科学
Biochem Biophys Res Commun	Ethanol impairs the assembly and disassembly of actin cytoskeleton and cell adhesion via the RhoA signaling pathway, catenin p120 and E-cadherin in CCK-stimulated pancreatic acini.	Iwata T	消化器内科学
Front Biosci	TS gene tandem repeats in esophageal cancer patients receiving chemoradiotherapy.	Kaneko K	消化器内科学
J Med Virol	Reactivation of Epstein-Barr virus in B cells of patients with chronic hepatitis C.	Shimozuma Y	消化器内科学
Hepatol Res	Cyclooxygenase-2 gene promoter polymorphisms affect susceptibility to hepatitis C virus infection and disease progression.	Sakai M	消化器内科学
J Biomed Biotechnol	Immune response of cytotoxic T lymphocytes and possibility of vaccine development for hepatitis C virus infection.	Hiroishi K	消化器内科学
Front Biosci	EGFR gene alterations as a prognostic biomarker in advanced esophageal squamous cell carcinoma.	Kanako K	消化器内科学
J Gastroenterol	Strong CD8(+) T-cell responses against tumor- associated antigens prolong the recurrence-free interval after tumor treatment in patients with hepatocellular carcinoma.	Hiroishi K	消化器内科学
J Transl Med	Phase I clinical trial of the vaccination for the patients with metastatic melanoma using gp100- derived epitope peptide restricted to HLA- A*2402.	Baba T	消化器内科学
Progress of Digestive Endoscopy	急速発育した肺大細胞癌の胃転移の1例	大森里紗	消化器内科学
Progress of Digestive Endoscopy	傍十二指腸憩室とERCPおよび関連手技との関係	岩田朋之	消化器内科学
日本門脈圧亢進症学会 雑誌	3本のバルーンカテーテルを使用しバルーン下逆 行性静脈塞栓術を行った猪瀬型肝性脳症の1例	魚住祥二郎	消化器内科学

日本小児アレルギー学会誌 24(2):217-224	硫酸マグネシウム点滴静注が有効と考えられた気管支喘息呼吸不全の一女性例	星野顕宏	小児科学
日本小児科学会雑誌 114(7):1069-1072	マイコプラズマ肺炎の後に細気管支炎を続発した14歳の1例	中村俊紀	小児科学
日本未熟児新生児学会雑誌、23(1):119-124	チアノーゼ性心疾患の姑息術後にミルクアレルギー様症状を来たし遅発性の腸管狭窄を生じた2症例の検討	中野有也	小児科学
日本小児科学会雑誌 114(11):1729-1732	川崎病の診断基準を満たし低補体血症を呈したヒトパルボウイルスB19感染症の1例	藤井隆成	小児科学
日本小児科学会雑誌 114(8):1271-1293	新しい在胎期間別出生時体格標準値の導入について	板橋家頭夫	小児科学
感染症学雑誌 84(3):269-275	小児急性上部尿路感染症の初期治療におけるセフトリアキソンの有効性と原因菌に対する抗菌薬感受性に関する検討	富家俊弥 阿部祥英	小児科学
日本小児外科学会雑誌 46(4):791-796	超低出生体重児における消化管穿孔の実態調査	五味明 板橋家頭夫	小児科学
小児外科 42(9):979-982	小児NST病態栄養シリーズ 特殊病態下の管理—強化母乳の関与が疑われた術後糞便性イレウス	大橋祐介 板橋家頭夫	小児科学
BJOG. 2010 Apr;117(5):557-64	Prediction of pre-eclampsia by an analysis of placenta-derived cellular mRNA in the blood of pregnant women at 15-20 weeks of gestation	Sekizawa A,	産婦人科学
Am J Obstet Gynecol. 2010 Dec;203(6):575.e1-7.	Performance of messenger RNAs circulating in maternal blood in the prediction of preeclampsia at 10-14 weeks.	Farina A, Zucchini C, Sekizawa A,	産婦人科学
母子保健情報 61, 21-27, 2010	【周産期医療の向上を目指して 予知・予防・治療とシステムの最前線[産科編]】 予知・予防の進歩 妊娠高血圧症候群: 予知マーカーの新たな開発に向けて	関沢明彦	産婦人科学
母子保健情報61号 Page5-11(2010.05)	【周産期医療の向上を目指して 予知・予防・治療とシステムの最前線[産科編]】 予知・予防の進歩 早産の予防 頸管無力症に対する方策	大槻克文	産婦人科学
厚生労働省精神・神経疾患研究委託費 心身症診断・治療ガイドラインの標準化とその検証に関して Page251-255	更年期障害心身症診断・治療ガイドラインの標準化とその検証に関する研究	長塚正晃	産婦人科学
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research, Volume 36, Issue 5, October 2010: 30 SEP 2010, 925-928	Intrapartum management guidelines based on fetal heart rate pattern classification	Takashi Okai	産婦人科学
Fetal & Neonatal Medicine Vol.2 No.1 March 2010 P29~P35 2010.3.25	新生児・小児における虚血性脳障害(HI)の予防「胎児機能不全—胎児心拍数陣痛図の新しい分類に基づく取り扱い指針—」	岡井 崇	産婦人科学
日本産科婦人科学会雑誌62巻10号 Page2068-2073	委員会提案 胎児心拍数波形の分類に基づく分娩時胎児管理の指針(2010年版) 日本産科婦人科学会周産期委員会、胎児機能不全の診断基準作成と妥当性の検証に関する小委員会提言(2008年)の改訂版	岡井崇	産婦人科学
日本未熟児新生児学会雑誌 第22巻 第2号 P30(208)~P32(210)	母体救命を目的とした総合周産期母子医療センターの将来展望—座長のまとめ	岡井 崇	産婦人科学
BJOG. 2010 Apr;117(5):557-64	Prediction of pre-eclampsia by an analysis of placenta-derived cellular mRNA in the blood of pregnant women at 15-20 weeks of gestation	Sekizawa A	産婦人科学

Am J Obstet Gynecol. 2010 Dec;203(6):575.e1-7	Performance of messenger RNAs circulating in maternal blood in the prediction of preeclampsia at 10-14 weeks.	Sekizawa A	産婦人科学
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌26巻2号 Page526-529	音声制御内視鏡ロボット(AESOP3000)の音声認識率向上に向けての発音方法の検討	石川哲也	産婦人科学
Prenat Diagn, 30 (6); 571-574: 2010	The association between preeclampsia and placental disruption induced by chorionic villous sampling	J. Hasegawa	産婦人科学
Prenat Diagn, 30 (12-13); 1121-1125: 2010	Analysis of the ultrasonographic findings predictive of vasa previa	J. Hasegawa	産婦人科学
Ultrasound Obstet Gynecol, 36 (2); 196-201: 2010	Detection of umbilical venous constriction by Doppler flow measurement at midgestation	J. Hasegawa	産婦人科学
J Perinat Med, 38 (1); 29-32: 2010	Evaluation of placental function using near infrared spectroscopy during fetal growth restriction.	J. Hasegawa	産婦人科学
Hum Genet	Transcriptomic analysis of cell-free fetal RNA suggests a specific molecular phenotype in trisomy 18	Koide K	産婦人科学
日本周産期・新生児医学会雑誌46巻4号 Page1235-1239	子宮内胎児死亡の原因に関する検討	東美和,	産婦人科学
日本周産期・新生児医学会雑誌46巻1号 Page45-48	前置胎盤における子宮下節の伸展と帝王切開時の出血量との関係	三村貴志	産婦人科学
超音波医学37巻3号 Page323-328	妊娠末期におけるAmniotic pocket測定の有用性に関する検討	竹中慎	産婦人科学
昭和医学会雑誌70巻3号 Page211-221	ヒト卵巣癌細胞株におけるToll-like receptorシグナルパスウェイの解析	林昌貴	産婦人科学
日本医師会雑誌139巻10号 Page2057-2068	【妊娠女性の高年齢化と周産期に増えるリスク】産婦人科医師の視点からみた妊娠女性の高年齢化	岡井崇	産婦人科学
胸部X線の正常・異常画像を見極める 日常診療で出会う境界症例アトラス	【縦隔・心大血管】大血管	扇谷芳光	放射線医学
臨画像	【最新分類に基づく画像による悪性腫瘍の病期診断2010】尿管、膀胱、尿道	扇谷芳光	放射線医学
臨画像	【特集 読影に役立つ石灰化の知識】乳房	廣瀬正典	放射線医学
臨画像	泌尿器・生殖器腫瘍-まるわかり辞典 腎盂・尿管	扇谷芳光	放射線医学
臨画像	【泌尿器・生殖器腫瘍-まるわかり辞典】腎盂・尿管	扇谷芳光	放射線医学
Innervision	3T時代の造影CT-1.5Tとの比較も含めた造影検査のポイント-	廣瀬正典	放射線医学
映像情報Med	【特集 腹部領域をみる～最新の画像トピックス】尿路CT urography	河原正明	放射線医学
臨画像	【T1強調像で高信号」または「T2強調像で低信号」を示す病変 視点を変えて探る鑑別診断と読影のコツ】泌尿器・男性生殖器	福山 幸	放射線医学
臨画像	特集 Cystic lesion: 画像診断のkey point 腎・泌尿器	高谷 周	放射線医学

J Magn Reson Imaging	MRI of the neck at 3 Tesla using the periodically rotated overlapping parallel lines with enhanced reconstruction (PROPELLER) (BLADE) sequence compared with T2-weighted fast spin-echo sequence	Ohgiya Y	放射線医学
臨放	今月の症例 気管支原発神経鞘腫	笹森寛人	放射線医学
Int J Cardiovasc Imaging	Sympathetic dysfunction of systemic right ventricle in congenitally corrected transposition of the great arteries	Akutsu Y	脳神経外科学
画像診断	【あなたなら-どうする? 症例から学ぶ読影に困った時の指針】泌尿器 CTで高吸収腫瘍が見られた右季肋部痛症例	崔 翔栄	放射線医学
画像診断	【あなたなら-どうする? 症例から学ぶ読影に困った時の指針】泌尿器 CTで徐々に増強効果が強くなる左腎腫瘍	崔 翔栄	放射線医学
画像診断	【あなたなら-どうする? 症例から学ぶ読影に困った時の指針】泌尿器 大量飲酒後の突然の腹痛	崔 翔栄	放射線医学
画像診断	【あなたなら-どうする? 症例から学ぶ読影に困った時の指針】泌尿器 複数の隔壁に増強効果のある右腎腫瘍	崔 翔栄	放射線医学
日小児放線会誌	術前TAEを施行した若年性血管線維腫の1例	清野哲孝	放射線医学
臨放	今月の症例 胆嚢捻転	宗近次朗	放射線医学
臨画像	Best教育症例2010 腹部 偶発的に発見された副腎腫瘍	高谷 周	放射線医学

計141

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長	有賀	徹
管理担当者氏名	管理課	丸地	伸

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院日誌は管理課、それ以外は診療録管理室に保管	病院日誌は各年度ごとに保管。それ以外は1患者1ファイル及び1ジャケットまたは、1診療録単位に診療記録をファイリングし外来・入院・X線写真を区分して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	管理課	
	閲覧実績	診療録管理室	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の体制第一の確保各号状及び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染のための指針の策定状況	各診療科、部門、病棟、外来、検査室の院内感染防止対策基本マニュアル内に保管
	第一項	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理室
	各号及び第九	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室
	条の二十三	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室
	第三項	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	管理課および薬剤部
	第一号に掲げる	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	管理課および薬剤部
	体制の確保の	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	管理課および薬剤部
	状況	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	管理課および薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	管理課および放射線部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	管理課および放射線部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	管理課および放射線部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	管理課および放射線部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病 院 長 有賀 徹
閲覧担当者氏名	診療情報管理士 鎌倉 由香
閲覧の求めに応じる場所	診療録管理室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	2件
閲覧者別	医 師	延	0件
	歯 科 医 師	延	0件
	国	延	1件
	地方公共団体	延	1件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	54.6%	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数	13,563人		
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,781人		
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	5,881人		
D: 初診の患者の数	39,933人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容：1) 医療安全に関する基本的な考え方 2) 安全管理の体制確保 3) 医療事故等の院内報告制度 4) リスクマネージャーの配置 5) 職員研修の実施 6) 医療事故対応マニュアル 7) 患者からの相談への対応 8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容：医療事故等の防止、安全管理体制の確保	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年7回
・ 研修の主な内容：4月20日 テーマ「活用しようポケットマニュアル」、「手指消毒について」参加者801名 6月30日 テーマ「流行性角結膜炎について」、「医療機器の安全使用について」参加者932名 7月29日 テーマ「わかりやすい文を書くためのポイント」、「当院における蓄尿の実態と尿を介する感染」参加者537名 9月15日 テーマ「最近の医療ガス事故例について」、「新型インフルエンザ対策について」参加者425名 11月29日 テーマ「当院における薬剤耐性菌の動向」、「当院における個人情報の紛失漏洩事例について」参加者538名 1月21日「ICTラウンドの報告」、「医薬品の安全使用」参加者376名 (臨時開催)2月23日「内服薬処方せんの記載方法に関する安全対策」参加者135名	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデント事例は、テーマ別分科会において横断的に編成された分科会委員(各部署リスクマネージャーがテーマ別分科会で検討された分析・改善策について、MRM委員会へ報告する。MRM委員会で報告に基づいて医療事故の防止対策業務改善の検討及び推進を図る。 アクシデントについては、医療安全・管理対策委員会において問題点の分析と対応及び改善策を検討する。問題点の分析及び改善策は、各種委員会で報告する。	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(3名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(3)名 兼任(8)名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全対策の推進に関する事。 2) 医療事故に関する報告窓口業務。 3) 医療事故に関する初期情報収集と対応。 4) 医療事故等の原因究明と必要な指導を行う事。 5) 医療安全管理について職員への教育及び周知徹底業務。 6) 医療安全管理・対策委員会の議事録に関する業務。 7) 訴訟に関する業務。 8) 当該事故関係医療従事者を支援する事。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無																		
<p>・指針の主な内容：趣旨、基本的な考え方、病院感染防止の体制確保、病院感染等の院内報告制度、感染リンクナースと感染リンクドクターの配置、職員研修の実施、その他の感染防止対策推進のために必要な基本方針としてマニュアルの周知徹底・医療安全管理対策委員会との連携・指針の閲覧からなる項目で構成している。</p>																			
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回																		
<p>・活動の主な内容：多剤耐性菌感染症発生報告、転帰報告、感染症発生報告、針刺し事例報告、感染情報レポート報告、ICTラウンド報告、抗MRSA薬使用症例数報告、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例件数報告からなる報告事項と、報告内容で調査検討が必要な事項の検討。ICTから出される検討事項の討議、マニュアルの改訂、追加、修正の検討。職員教育の実施状況と出席状況の確認。感染関連の消毒薬や安全器材の選定。</p>																			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回																		
<p>・研修の主な内容：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">4月20日</td> <td style="width: 15%;">テーマ</td> <td>「手指消毒について」参加者801名、DVD視聴99名</td> </tr> <tr> <td>6月30日</td> <td>テーマ</td> <td>「流行性角結膜炎について」参加者932名、DVD視聴91名</td> </tr> <tr> <td>7月29日</td> <td>テーマ</td> <td>「当院における蓄尿の実態と尿を介する感染」 参加者537名、DVD視聴66名</td> </tr> <tr> <td>9月15日</td> <td>テーマ</td> <td>「今年のインフルエンザ対策について」 参加者425名、DVD視聴89名</td> </tr> <tr> <td>11月29日</td> <td>テーマ</td> <td>「当院における薬剤耐性菌の動向」 参加者532名、DVD視聴72名</td> </tr> <tr> <td>1月21日</td> <td>テーマ</td> <td>「ICTラウンドの報告」参加者376名、DVD視聴66名</td> </tr> </table>		4月20日	テーマ	「手指消毒について」参加者801名、DVD視聴99名	6月30日	テーマ	「流行性角結膜炎について」参加者932名、DVD視聴91名	7月29日	テーマ	「当院における蓄尿の実態と尿を介する感染」 参加者537名、DVD視聴66名	9月15日	テーマ	「今年のインフルエンザ対策について」 参加者425名、DVD視聴89名	11月29日	テーマ	「当院における薬剤耐性菌の動向」 参加者532名、DVD視聴72名	1月21日	テーマ	「ICTラウンドの報告」参加者376名、DVD視聴66名
4月20日	テーマ	「手指消毒について」参加者801名、DVD視聴99名																	
6月30日	テーマ	「流行性角結膜炎について」参加者932名、DVD視聴91名																	
7月29日	テーマ	「当院における蓄尿の実態と尿を介する感染」 参加者537名、DVD視聴66名																	
9月15日	テーマ	「今年のインフルエンザ対策について」 参加者425名、DVD視聴89名																	
11月29日	テーマ	「当院における薬剤耐性菌の動向」 参加者532名、DVD視聴72名																	
1月21日	テーマ	「ICTラウンドの報告」参加者376名、DVD視聴66名																	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況																			
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有) 無) 感染症発生報告書を改訂し、抗MRSA薬使用と培養結果の両方から感染事例と新規発生(保菌を含む)事例を拾い上げられるようにした。</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容： 手指衛生の遵守率を向上するため、手指衛生に使用する速乾性アルコール手指消毒剤の見直しを行い、使用しやすいよう工夫を行った。 液状の手指消毒剤1種類が採用されていたが、皮膚に合わない医療従事者がいること、個人が携帯したいという要望があったことから見直しを行った。液状とジェル状、ローション状の製品を各1種類ずつ採用し、皮膚に合うものを選択できるようにした。また、容器の形状を250mlの携帯できる容器、500mlの卓上設置できる容器、1000mlの使用頻度が多い場所に置ける容器の3種類を採用し、用途に合わせて選択できるようにした。手指衛生の徹底のため、携帯できるポシエットを準備し、必要即時に行えるようにした。</p>																			

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年6回
・研修の主な内容： 全職員対象：1) 医薬品の安全使用 2) 処方せんの記載方法変更について 新臨床研修医対象：1) 医薬品適正使用への取扱いと注意事項 2) 医薬品の副作用 新任看護師対象：1) 薬剤の基礎知識、注意点 2) 麻薬・向精神薬などの重点管理薬について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・手順書の作成 (有・無) ・業務の主な内容： 第1章 教育・研修 第2章 事故発生時の対応 第3章 外来および入院患者への医薬品の使用と管理 (患者に対する与薬や服薬説明に関する事項) 第4章 医薬品情報の収集・管理・提供 (医薬品の安全使用に係る情報の取扱い) 第5章 医薬品の採用 (医薬品の採用・購入に関する事項) 第6章 医薬品の管理 (購入管理と供給管理) 第7章 当院における医薬品の適正使用の管理 (患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項) 第8章 薬剤管理指導 第9章 他施設との連携 (他施設との連携に関する事項) ・業務の実施状況：毎月、薬剤部リスクマネージャーと共に上記業務内容を巡視し確認。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・その他の改善のための方策の主な内容： ① オーダリングシステムの薬剤検索方法の4文字制限化：処方薬剤の検索に名称の頭3文字を入力するとリストアップされる設定であったが、頭3文字が同一の薬剤があり、インシデントが発生した。そのため、薬剤の検索名称を頭4文字入力制限と変更した。 ② インスリン運用改定：インスリン(ペン型)は病棟に在庫を置き、手書き指示で運用していたが、取り間違いのインシデントが発生した。そのため、すべてを処方オーダーと変更し、薬剤部で処方履歴確認した後に病棟に払い出すこととした。また、病棟在庫は廃止した。 ③ ビドマー配置方法の統一と整備：ビドマー設置薬の取り間違いのインシデントがあった発生した。そのため、設置方法に基準(縦3薬剤、後列を使用しない)を設け、全病棟の配置方法を統一した。 ④ 注射せんコメント印字位置の変更：注射せん薬剤固有の注意事項を最下段に印字していたが、コメントを見逃すインシデントが発生したため、印字位置を最上段に変更した。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・研修の主な内容：人工心肺装置及び補助循環装置の安全使用 人工呼吸器の安全使用 血液浄化装置の安全使用 除細動装置の安全使用 閉鎖式保育器の安全使用 診療用高エネルギー放射線発生装置の安全使用 診療用放射線照射装置の安全使用	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・計画の策定 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ・保守点検の主な内容：各医療機器の添付文書に記載されている年間回数及び点検項目に基づいて、医療スタッフもしくは外部委託における点検を実施している。特に、人工心肺装置、人工呼吸器の一部、血液浄化装置の一部、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置については外部委託を行っている。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容：各医療機器メーカー及び医薬品医療機器総合機構からの情報に基づいて当院で使用している医療機器の安全管理を行っている。改修・回収情報については特定保守管理機器台帳に基づいて、各部署の責任者と連携・実施し、その内容を医療機器安全管理委員会及び医療安全管理対策委員会に報告している。また、毎月「医療機器安全ニュース」を発行し、情報の共有化を推進している。	